

地域と連携した河川における 外来植物対策ハンドブック (案)

令和 7 年度増補版

令和 7 年 4 月

国土交通省 河川環境課

■ はじめに

外来種対策については、平成16年(2004年)に「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（通称：外来生物法）」が制定されるとともに、近年は、令和4年（2022年）に開催された生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）で「2030年ターゲット」に「外来生物の新規侵入と定着を50%減少」が位置付けられるなど、その重要性が高まっているところです。

このハンドブックは、日本の河川で問題となっている外来植物20種について、その特徴や防除方法を事例をまじえて分かりやすく説明したものです。主に外来植物に詳しくない地域の皆さんや河川管理者が、外来植物の知識を身につけたり、駆除活動に参加したりする場面でご活用いただくことを目的としています。

構成は、外来植物に共通する基礎知識や駆除に関する留意点をまとめた“概要編”と20種それぞれの対策をまとめた“個別対策編”の大きく2部でできています。

地域で問題になっている、あるいは駆除活動の対象としている外来植物がすでにある場合には、該当するページをご覧ください。外来植物について、広く知識を身につけたい方は、概要編をご一読いただき、気になる外来植物のページから自由にご覧ください。

また、参考として、河川管理者と関係機関との連携及び官民連携による外来植物の防除事例を巻末に掲載しました。

令和7年4月

目次

概要編

河川における外来種問題	1
外来植物の現状	2
外来種対策の考え方	3
本書で対象とする外来植物	4

個別対策編

◆水域・水際

ボタンウキクサ	6
ホテイアオイ	8
オオフサモ	10
オオバナミズキンバイ	12
ナガエツルノゲイトウ	14
オオカワヂシャ	16
ミズヒマワリ	18
ブラジルチドメグサ	20

◆湿地等

セイバンモロコシ	22
イタチハギ	24
アレチウリ	26
トウネズミモチ	28
オオブタクサ	30
オオハンゴンソウ	32
セイタカアワダチソウ	34

◆海辺等

ウチワサボテン	36
ナルトサワギク	38

◆礫河原等

シナダレスズメガヤ	40
ハリエンジュ	42
オオキンケイギク	44

事例

事例紹介：スパルティナ属の防除の取り組み	46
事例紹介：官民連携の取り組み	47